

開講期	2026年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	7428 世界の不平等問題			開講形態（隔週 偶数＝隔週2コマ）	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	3年/4年	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	水曜2限				
教室	J201教室				
代表教員	加藤 巖				
担当教員	加藤 巖				
テーマと到達目標	なぜ、世界には圧倒的な貧困問題が存在するのかを深く考えてもらう。また、世界的に公平な社会とは達成可能なのであろうか。そのためには何が求められるのか。受講者それぞれに考えてもらう。				
概要	授業テーマに沿って、各受講者に熟考してもらう。ほぼ毎回のように受講者をいくつかのグループに分けてゲームを行なう。そして、その結果については受講者同士で話し合ってもらう。話し合いの内容は、授業内で発表してもらう。ゲームの大半は誰にでも容易に参加できるもので、その多くは各人に一定の場面で一定の役割を演じてもらうといったシチュエーション設定型のゲームである。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	授業オリエンテーション			加藤 巖	対面授業
第2回	「宇宙船ゲーム」を行なう。人々の意思決定のやり方を体感しその長所短所を考える。			加藤 巖	対面授業
第3回	「新しい社会を作るゲーム」を行なう。社会ルールの「望ましさ」について考える。			加藤 巖	対面授業
第4回	「マンション建て替えゲーム」を通じて人々のエゴについて考える。			加藤 巖	対面授業
第5回	東南アジアのスラム整備プロジェクトの実例から望ましい社会開発の仕方を学ぶ。			加藤 巖	対面授業
第6回	「調停会社ゲーム」を通じて多くの人々の利害を調整することの難しさを学ぶ。			加藤 巖	対面授業
第7回	「貧困の悪循環」ゲームを通じて貧困生活からの脱却を目指す方法を知る。			加藤 巖	対面授業
第8回	人の認知能力が如何にいい加減であり、不正確な認知が不快な結果を生むことを知る。			加藤 巖	対面授業
第9回	社会正義の中心概念は人権である。人権について学ぶ必要をあらためて考える。			加藤 巖	対面授業
第10回	「ニュース報道ゲーム」から、偏向した報道が人々の意識をミスリードすることを学ぶ。			加藤 巖	対面授業
第11回	「協力・裏切りゲーム」から他者との信頼関係の大切さをあらためて学ぶ。			加藤 巖	対面授業
第12回	「つながりゲーム」を通じて各国間の相互依存が深いことを学ぶ。			加藤 巖	対面授業
第13回	これからの望ましい相互依存のあり方について考える。			加藤 巖	対面授業
第14回	授業全体を振り返り、グループディスカッションを行う。			加藤 巖	対面授業
第15回	授業のまとめ			加藤 巖	対面授業
成績評価の基準	講義への積極的な参加と期末試験（もしくはレポート）の結果を総合的に判断して成績評価を行う。随時小テストも行い、その点数も成績評価に加味する。				
履修にあたっての留意事項	授業では、ほぼ毎回ディスカッションを行う。その結果については発表をしてもらう。また、ゲームも多用する。こうしたことが苦手な人の受講はお勧めできない。動作を伴うゲームを多用するので、動きやすい服装が好ましい。また、（１）授業の連絡事項は掲示板、和光ポータル、和光Gメールのいずれかで行う。（２）資料配布は印刷物配布ないしは和光ポータルの＜授業資料＞機能を使う。（３）対面授業を予定しているが、もし、オンライン授業に移行した場合には、同時双方向型授業（Zoomなどと和光ポータルを併用）を主体とする。（４）自宅課題学習については授業期間中に指示する。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用			
教科書	指定教科書はない。適時、レジュメおよび資料を配布する。	教科書(ISBN)	
参考文献	マイケル・バラット・ブラウン 『フェアトレード：公正なる貿易を求めて』 新評論 P.W.シンガー 『子ども兵の戦争』 NHK出版 アマルティア・セン 『不平等の再検討：潜在能力と自由』 岩波書店	参考文献(ISBN)	

◆合理的配慮

本学における修学支援基本方針について	本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html 合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること
--------------------	--